

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2013 年度事業報告書

2014 年 5 月



2013 年度事業報告

2013 年 4 月 1 日から 2014 年 3 月 31 日まで

2013 年度金融知力普及協会活動の通信簿

	教育活動	インストラクター	イベント	コンテンツ	財務運営
内容	通信教育 講師派遣 検定試験等	インストラクター制度の充実	エコジュニ エコミクス甲子園等	従来コンテンツの整備、 新規コンテンツの拡充 等	事務局運営についての 財務状況
数値 実績	通信講座:122件 セミナー参加:540名 検定試験:189件	インストラクター総数:857名 フォローアップ:30名	キッズ:10名 エコ甲:2,046名 子ども経済塾:51名	エコノミカ:433個 ブースター:527個 エレメント:159個	赤字:323万円
評価	△	△	○	○	△
13年度 概要	受講者、受験者は前年 度並みであり、増加に はつながらなかった。	教育指定校が活動を増 加しているものの、現 存のインストラクター向 けの施策は最低限。	各イベントはいずれも非 常に盛り上がり、メデ ィアでの露出も大きか った。	1) 経済TCG エコノミカ 2) インストラクター フォローアップセミナー	減額になった分をか バーしきれなかった。
14年度 戦略	出来るだけ低コストでの 運営を心がける。	インストラクター紹介ペ ージを活用し、活躍の場 を増やす。	エコミクス甲子園は前 回大会以上の大会数を 狙う。エコジュニは本格 開催を狙う。	販促を行いエコノミカの 売り上げ増を図る。また 追加カードセットなどコ ンテンツを充実させる。	安定的に黒字を確保で きる状態を目標にする。

I. 事業の経過および成果（概要）

全ての人々にフィナンシャル・リテラシーを。この理念を実現することが我々の目的です。認定 NPO として様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベントの「エコノミクス甲子園」や小・中学生向けの「エコノミクス・ジュニアスクール」など、金融経済教育イベントの規模を拡大し、一定の実績を上げることができております。また、将来の収益につながる新たな事業にも取り組んで参りました。今後はこれまで開催してきたイベントをより活発に展開し、新たな収益事業を育て、活動の規模を拡大して参ります。そして自発的に活動する金融知力インストラクターを多数擁する団体としての地歩を固めることが目標です。

2013 年度の事業の経過を総括いたしますと、エコノミクス甲子園等のイベントで成功を収め、各所から好評を得ることができました。しかしながら、メインスポンサーが撤退し、寄附金が大幅に低下。加えて通信教育講座、講師派遣等の販売は低調で、財政的には約 323 万円の赤字となりました。

「今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎」の発行：高校・大学生向けの教科書「ファイナンス基礎」を大幅に編集し、「今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎」と改題しました。

経済カードゲームエコノミカ：2012 年度に開発した カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べるカードゲーム「経済 TCG エコノミカ」を引き続き、セールスしております。高校の授業などで使用していただくなど、一定の成果がありました。カードゲームファンからの評価も高く、今後は広報活動を通じてカードの魅力をアピールし、ゲームファンや経済に興味を持つ子供、社会人、そして金融機関などの広報・CSR ツールとして購入をしていただけるよう販促に力を入れて参ります。

エコノミクス甲子園：39 の都道府県とインターネット大会の計 40 地方大会を開催いたしました。前回大会から 6 大会増となっております。目標としておりました参加者 2,000 名を達成し、全国 378 校の学校から 2,046 名の応募がありました。参加者数が 100 名を超える地方大会もあり、各地方での認知度も高まっております。メディア上での注目度も高く、多くの新聞・テレビ・雑誌に取り上げられました。

2014 年度は、再度黒字を達成するとともに、特に金融知力インストラクター事業を中心に強化してまいりたいと思います。

2013年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

I-1. 金融知力普及啓蒙事業

① 川口市子ども経済塾を実施

8月21日～23日の3日間、川口市の主催する「子ども経済塾」を実施いたしました。本イベントは今回で9年目となります。川口市内すべての小学校から6年生の生徒51人が参加し、ライフプランの考え方やお金の管理のしかたなどの金融知力学習を行い、地元企業、銀行等の見学を実施しました。

② 第八回エコノミクス甲子園を開催

2月2日、虎ノ門の「イイノホール」にて第八回エコノミクス甲子園の全国大会を開催いたしました。全国39会場で地方大会を実施し、インターネット大会代表の1チームを加えた40の代表チームで競技を行いました。千葉大会代表の県立千葉高校チームが優勝し、優勝商品として4月にNY研修旅行を実施いたしました。第八回大会は全国で1,023チーム、2,046名の高校生が参加をしております。

③ 経済カードゲームエコノミカの販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済TCG エコノミカ ブースターパック」を販売いたしました。アマゾンでのネット販売やゲームショップでの委託販売を通じ、昨年度発売のスターターデッキは433セットを売り上げ、ブースターパックは527パックを売り上げております。今後も新カードパックの発売や販促活動を行い、販売数の増加を目指してまいります。

④ 金融知力インストラクター対象のフォローアップセミナー実施

インストラクター向けの施策「フォローアップセミナー」を9月28日（土）と3月8日（土）に実施いたしました。セミナーの目的は、「インストラクターのスキル向上」、「仮認定インストラクターの正式認定」、「資格更新機会の提供」となっております。座学での受講に加え、DVD受講もできるようにし、全国から30名のインストラクターが受講いたしました。今後も定期的にフォローアップセミナーを実施してまいります。

I-2. 金融知力教育事業

① 通信教育

2013年度の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	113名	120名	1,112名
アドバンスド コース	9名	40名	688名
合計	122名	160名	1,800名

販売数は依然低落傾向です。基本的にはコストをかけず現状維持を目標とします。

② セミナー・研修

2013年度に当協会が主催、受託、講師派遣した主な研修と受講者数は以下の通りです。

研修・セミナー	参加人数
【京田辺市】消費生活講座	34人
【高島屋】高島屋商い塾	84人
【プルデンシャル生命保険】社員向けセミナー	13人
【協会】NISAセミナー	9名
【川口市】子ども経済塾	51人
【プルデンシャル生命保険】インストラクター養成セミナー	2人
【協会】金融知力インストラクターフォローアップセミナー	15名
【NTTドコモ】ライフデザイン研修	155人
【高島屋】社会知識研修	61人
【高島屋】社会知識研修プロセールス編	5人
【NTTドコモ東北】ライフデザイン研修	14人
【最高裁判司法研究所】東京地裁 裁判官向け研修	35人
【NTTドコモ北海道】ライフデザイン研修	7人
【NTTドコモ中央グループ】ライフデザイン研修	40人
【協会】金融知力インストラクターフォローアップセミナー	15人

I-3. その他特記事項

① 寄附金

エコノミクス甲子園の開催の為、SBIホールディングス様より500万円のご寄付、シティ財団様より約319万円(3万2千ドル)のご寄付、ピットクルー様より100万円のご寄付、ラッセル・インベストメント・グループ様より50万円のご寄付、株式会社一休様より50万円のご寄付をいただきました。前年のメインスポンサーであるPGFL社の撤退があったため、総額は昨年度より低下しております。

エコノミクス・ジュニアスクールの開催の為、プルデンシャル生命保険様より10万円のご寄付をいただきました。

また、個人として金子昌資氏より300万円のご寄付、岡本和久氏より300万円のご寄付をいただき、一般寄附金収入に繰り入れております。

昨年と比べ寄付の総額は約167万円減となりました。

Ⅱ. 財務の状況

2013 年度の収支の状況は添付のとおりとなっています。協会では例年公認会計士に監査を委託しており、引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

- ・ 経常収益は合計で、47,688 千円から 47,988 千円への微増でした。
- ・ 事業費は 40,495 千円で、そのうち 9,468 千円が人件費となっております。
- ・ 管理費は 10,659 千円となっております。そのうち 5,767 千円が人件費です。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用は、昨年の 46,373 千円から 51,155 千円へ増加いたしました。
- ・ 2013 年度の損失は 3,236 千円となっております。

以上